

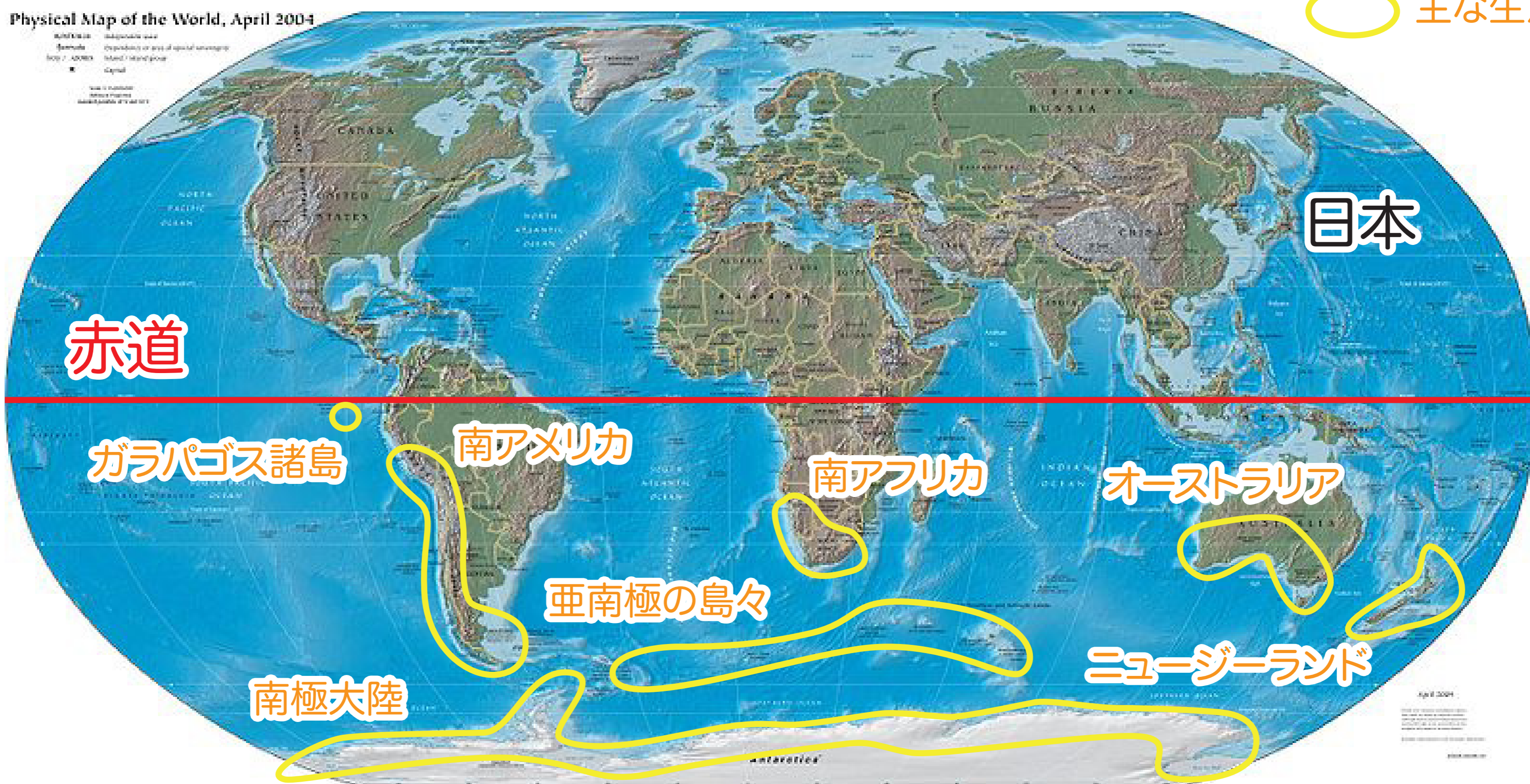


ペンギンってどんないきもの？

ペンギンは南極にしかいない？

ペンギンの主な生息地域

Physical Map of the World, April 2004

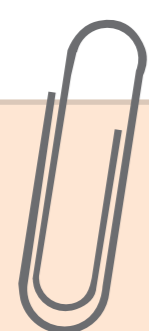


○ 主な生息地

南極にしかいないと思われがちなペンギンですが、実は世界には18種類ものペンギンがいて、極寒の南極大陸から赤道直下のガラパゴス諸島まで、南半球に広く生息しています。南極大陸とその周辺の亜南極の島々には9種類*、他の9種類**はそれ以外の場所にいます。中でも、一つの地域で一番たくさんの種類（スネアーズ、シュレーター、フィヨルドランド、キガシラ、コガタ）がすんでいるのはニュージーランドです。でも、ペンギンの数が多いのはやっぱり南極とその周りの海。そこで暮らすペンギン9種類の合計はおよそ1,870万つがいとされています。それ以外の地域にいる9種類は合計170万つがいです。やっぱりペンギンの本拠地は南極と言ってよさそうです。また、南半球で進化したペンギン。赤道をこえて北半球には行かなかったようです。

* 南極と亜南極の9種類：コウテイ、オウサマ、アデリー、ヒゲ、ジェンツー、マカロニ、ロイヤル、ミナミイワトビ、キタイワトビ

** 南極と亜南極以外の9種類：スネアーズ、シュレーター、フィヨルドランド、キガシラ、コガタ、ケープ、マゼラン、フンボルト、ガラパゴス



こぼればなし



日本の水族館や動物園などで見られるペンギンは13種類です。

その中でも一番多いのは、野生では絶滅が心配されているフンボルトペンギンです。なんと世界の生息数の約4%が日本にいるのです。